

# 生きるか？死ぬか？

## 選ぶのは私たち

**いずみ**…ロシアがウクライナを侵略して以降、日本の防衛についても、敵基地攻撃能力（反撃能力）を持つべきだとか、防衛費を現在の2倍程度に増額するなど積極的な意見が多く出てきているね。  
極めつけは、核兵器をアメリカと共同で保有しようという意見だね。

**ツトム**…今こそ、冷静に考えることが一番必要だよ。

まず、日本が攻められた場合、私たち国民に多くの死傷者が出るということをお忘れちゃいけないね。

ウクライナの状況を見ても、多くの国民が亡くなったり負傷したりしているし、また、海外に避難する人が700万人を超えていると言われている。もし戦争になれば、日本は海に囲まれていて避難しにくいから多くの国民が死傷する危険性が高いということをお前提に考えなければならぬと思うよ。

戦争になったらどう行動するか、

と勇ましいことを言う前に、どうすれば戦争にならないか、ということをお考えなければいけないよ。

①なるほど。でも、もしもに備えて防衛力を増強する必要もあるんじゃないの？

②敵基地攻撃能力（反撃能力）を持つということは、国外を攻撃するということだね。今、ロシアが世界中から非難されているのは、他国であるウクライナを攻撃しているからでしょう。もし、日本が国外を攻撃したりすれば、世界の世論は、日本に対して厳しくなり、日本は孤立する危険があるということをお考えなければならぬよ。

③敵基地攻撃能力（反撃能力）のような新たな能力を持つとすると、当然、これまでは持っていない兵器も買わなければならないよ。

④そうだね。防衛費を増額する、言うのは簡単だけど、そのお金はどこから用意することになると思う？

⑤今の日本に余裕はないし、財政も赤字だと報道されているよ。

⑥もし、防衛費を増額するならば、社会保障費を大幅に減額する、例えば、年金額を減らしたり、医療費の自己負担を増やしたりするとか、個人の生活を犠牲にするということになるし、増税するという方法をとるなら、消費税を今より2%は上げる必要がある計算になるんだ。

結局、それだと国民の反対にあうので、赤字国債を発行する、つまり借金をするということしかないんだろけれど、それだと将来世代に負担をかけるだけということになってしまふんだよ。

⑦核兵器の共同保有はどうか。

⑧これも勇ましいことを言うのは簡単だけど、どこに核兵器を置くことになるか考えなければいけないよ。

原発で使った核廃棄物でさえ、引き取る自治体はないよ。いわんや核兵器を置いて構わないという自治体が出てくるかな。

治体が出てくるかな。

それに、核兵器を使用するかどうかは、結局、アメリカ次第になるから、核兵器を日本に置いておくだけ、運搬するだけといったように、いいようにアメリカに利用されるだけになると思うけどね。

⑨やっぱり、いろいろな具体的に考えてみる必要があるね。雰囲気だけで判断してしまつたら、とんでもないことになることが分かったよ。

⑩きつと、今の状況だけを見て勇ましいことを言う人達は安全地帯にいて死ぬ危険がないと思っているんじゃないかな。

国あつての国民ではなく、国民あつての国なんだから、戦争で国民が死ぬことがないようにする。死ぬ危険性が少ないようにする。そのためにはどうするか、何をすべきか、勇ましい声に惑わされることなく冷静に考えることが、今、一番必要なことだと思うよ。



ツトムくん



いずみちゃん

ロシアのウクライナ侵攻により、武器によって建物が次々に破壊され、人々が死傷し、多くの人が国を逃れる等の悲惨な状況を連日のニュースで目の当たりにしています。戦争はまだに終わる兆しが見えず、「戦争は始まつたら簡単には終わらない。」ということをお改めて痛感しています。

ウクライナの人々が国のために命をかけて戦つことや、それを宣言する大統領に関して、美談のように報道されていることに抵抗があります。ウクライナでは18歳から60歳までの成人男性の出国を禁止する戒厳令が出されており、国のために戦つことを強制されています。皆が自由な意思で、国のために戦っているわけでは無いように思うからです。複数のウクライナ男性が「家族と一緒にいたい」と、隠れて出国しようとしたところを捕まつたというニュースも流れていました。家族と一緒にいたい。生きていたい。戦いたくない。と思つている人達の姿に、胸が痛みます。

武力行使がこれだけ悲惨な現状になることを世界中の人々が目の当たりにしていることから、「武器はやっぱり良くない、武器は使つべきでは無い」「武器を地球から無くそう!!」「争いは話し合つしか無い」という声が大きくなると思つていま

したが、「うちも攻められるかもしれないからやはり武器だ!」「軍事費増額だ!」「軍事同盟の強化だ!」という声の世界中で高まっていることに絶望感を覚えています。

今日本でも、憲法を変えようという動きが再び高まっています。日本国憲法は、日本が二度と戦争をしないようにするために作られた憲法です。第二次世界大戦で世界中が戦争に疲れ切り、その結果、叡智を結集して作られたのが日本国憲法です。日本が二度と戦争をしないために、天皇主権から国民主権にし、国は私達国民の個人の尊重を一番大事にしなければならなくなりました。

そして私達を法の下に平等にし、私達の表現の自由・思想良心の自由・学問の自由等を国の侵害から守り、私達の貧困を無くし、私達が教育を能力に応じて受けられる権利を保障し、三権分立で権力の偏りを無くし、憲法で国家権力を縛る立憲主義にしました。ロシアが今、国民の反戦デモを制圧し、反戦報道を懲罰化している現状を見ると、「戦争をしたい国家権力は、まず国民の表現の自由を侵害するって本当なんだな。」「日本国憲法は、本当に国が戦争をしないために作られたのだな。」と感心しています。

これに対して、「日本がちゃんとし

ていても、日本が他国からいきなり攻められたらどうするの?」という意見もあります。しかし、戦争は人災であり、天災ではありません。外交の最大の失敗が戦争です。よって「いきなり」、「突然」攻撃をされるということは絶対にあり得ません。そして、小さな島国であり、原発大国の日本は、攻められたら終わりです。また、武力をいくら増やしても外交努力・対話をし続けなければ、緊張関係を高めるだけで、武力での解決

### 熱血 竖護士の「これは言いたい!」シリーズ

## 戦争をなくすには

## どうしたらいい!?!

弁護士 竖 十萌子

しか出来なくなるでしょう。また、国の力は有限です。よつて軍事に力を入れたら必ず何かを削らなければなりません。超少子高齢化で貧困が底抜け始めている日本。地震・気象不安・建物の老朽化・自給率の低さなど問題は沢山あるのに、それらにお金を割かず軍事を増やして本当に強い国になるのでしょうか。そして、日本が軍事をより強化しても、また日本の権力者が勝手な戦争を始めないという確固たる自信はありますか

か?

「コロナや環境問題等で、世界はいつにならないと自国の問題も解決しない時代になりました。地球全体の危機が迫っているのに、未だ国同士で戦争をしている人間ほど愚かな生き物はいないと思つてしまいます。日本は今こそ、自国の利益だけを考えるのではなく、世界の平和を考え、平和の大使として汗を流すべきではないでしょうか。戦争難

民を受け入れ、紛争国双方と積極的に話し合い、即

刻の停戦に向けて必死に動く、そうした日本の姿を見せることこそが、世界からの信頼を得て、日本の、私達の、平和や安心に繋がると思っています。

私達は、第二次世界大戦という大きな犠牲を払つて、今の日本国憲法の理念を手に入れました。それをも手放していいのでしょうか。

